



えほんスクラップ No.78

～秋田市立図書館から2か月に一度、絵本の情報をお届けします～
2026年4月発行



あたらしい えほん

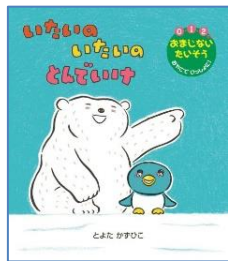


「ん」のえほん
からころ ことばのおとの
おもちゃばこ②
たかはしみどり／作
やまうちかずあき／絵 デコ
対象年齢：0才から
出版年：2025年10月



「ん」は前後の音によって、少しずつ発音が変わる文字。なんと6種類もの発音があります。「んばちゃん、んぼちゃん」や「んしゃー、んしゃー」といったオノマトペを、ぞうのから、ころと一緒に声に出して読んでみましょう。いろんな「ん」の響きが楽しめる絵本です。(Eヤ・アカチャン)

「いたい いたいの
とんでいけ」
とよたかずひこ／作
世界文化社
対象年齢：0才から
出版年：2025年10月



よちよち歩きのペンギンさん、つるっところんで、くちばしをぶつけてしまいました。泣きだしたペンギンさんをしろくまさんがなぐさめてくれました。どうやって？それは「いたい いたいの とんでいけ～」のおまじない。痛い場所をやさしくなでて遠くを指さすと、あら不思議。(Eト・アカチャン)

「ちいさなショベルカー
ベルン」
すとうあさえ／作
早川純子／絵 童心社
対象年齢：3才から
出版年：2026年1月



ベルンは新品のミニショベルカーです。小さいからと工事現場から返されたベルンは、大きな穴を掘るホリガーや大きな石を持ち上げるガシーンにバカにされ落ち込みます。「ぼくも土を掘りたいよう。」ベルンが次に向かった先は！？読んでいくうちに勇気がわいてくるお話です。(Eハ)

「とらのセーター」
田中映理／作・絵
岩崎書店
対象年齢：3才から
出版年：2026年1月



大きくて怖そうなたらは、いつもひとりぼっち。ある日、大切な猫がいなくなりおばあちゃんがさみしうなので猫のふりをしてほしいと男の子に頼まれます。とらは猫のふりをして、おばあちゃんの編み物を手伝ったり一緒に布団で寝たり。そんなある晩、猫が帰ってきたのです。(Eタ)



あたらしい えほん



「どうぶつたちの
おひっこし
どうやって はこぶのかな？」

平山暉彦／作
福音館書店
対象年齢：4才から
出版年：2025年10月



首の長いきりん、どうもうなトラ、とびはねるカンガルー、おくびょうなコアラなど、さまざまな動物を遠くの動物園に運びます。どうやって運ぶのでしょうか？ケガをさせないようにつかまえて箱やゲージに入れ、安全に運ぶために動物たちの特徴に合わせ、いろんな工夫をしています。(Eヒ)

「からだたんけんれっしや
かぜをやっつけろ！」

濱田真理／文 大橋慶子／絵
交通新聞社
対象年齢：4才から
出版年：2025年10月



おなかを出して寝ていた僕の体調が変です。かぜをひいちゃったのかな？気がつく僕は、ママの合図と共に鼻の穴からからだ探検列車に乗り込んでいました。前方にいるあやしい列車を追いかけてのど駅へ…。かぜをひいてから治るまで体の中で起こる事が楽しくわかります。(Eオ)

「ゆきんこのレストラン」

ながしまひろみ／作
小学館
対象年齢：5才から
出版年：2025年11月



なっちゃんが雪あそびをしようとして外にでたら、こぎつねがいました。こぎつねを追いかけて森のおくへ行くと、大きな木の根元に氷でできたドアを見つけました。中から女の子が出てきて、「ゆきんこのレストランへようこそ」というので、入ってみると…。(Eナ)

「ウマになれたら
いいのにな」

ソフィー・ブラッコール／作
山口文生／訳
評論社
対象年齢：6才から
出版年：2025年11月



もしもウマになれたら、一日中走りまわっちゃう。行きたいところ行ったり、妹を乗せてあげたりしたいな。水泳大会では、きっとひっぱりだこだよ！ああ、ウマになれたらいいな。大好きなウマになったら、こんなことがやりたいという子どもの夢を描いた絵本です。(Eブ)



読みつがれている えほん



「バルバルさん」

乾栄里子／文 西村敏雄／絵
福音館書店
対象年齢：3才から
出版年：2003年1月



バルバルさんはとこやさんです。ある朝、いつものように開店準備をしていると、ドアがあいて、なんとライオンが入ってきたのです。おどろきながらも、からまったたてがみをきれいに整えてあげると、ライオンは大喜び。その後も、ワニ、ヒツジなどいろいろな動物がやってきます。(Eニ)

「だんごむしそらをとぶ」

松岡達英／作
小学館
対象年齢：4才から
出版年：2000年7月



毎日地面のかれ葉を食べていただんごむしは、空を飛びたくって旅に出ます。すばらしい景色やおいしいごちそうに満足していたら、急な夕立にあい、夜になってしまいました。寝る場所をさがすだんごむしが見つけたのは…。虫の目線になって一緒に冒険している気持ちになれる本です。だんごむしシリーズ第一弾。(Eマ)